



程度の急性期病棟の確保は必要である。

また、増加が見込まれる後期高齢者が、住み慣れた地域で安心して過ごせるために、在宅復帰を目指す「地域包括ケア病床」を増床し、地域のニーズに応じていく。

### 【3 具体的な計画】

#### ① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

区分	現在 (平成26年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	-	→	-
急性期	150床		50床
回復期	-		100床
慢性期	-		-
(合計)	150床		150床

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標
2020年度	(現在) 急性期病棟 100床 地域包括ケア病棟 50床 ↓ 急性期病床の一部を地域包括ケア病床転換に向けた検討を行う	2/1(届出(予定)) 急性期病棟 50床 地域包括ケア病棟 100床

末期の患者の看取りを目的とした転院の要請を積極的に受け入れる。

- ・皮膚科，泌尿器科，心療内科など非常勤及び当院に設置されていない科目についても，他の急性期病院との間で連携を強化する。

### 【3 具体的な計画】

#### ① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

区分	現在 (平成26年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	-	→	-
急性期	150床		150床
回復期	-		-
慢性期	-		-
(合計)	150床		150床

<年次スケジュール>

※ 追加